

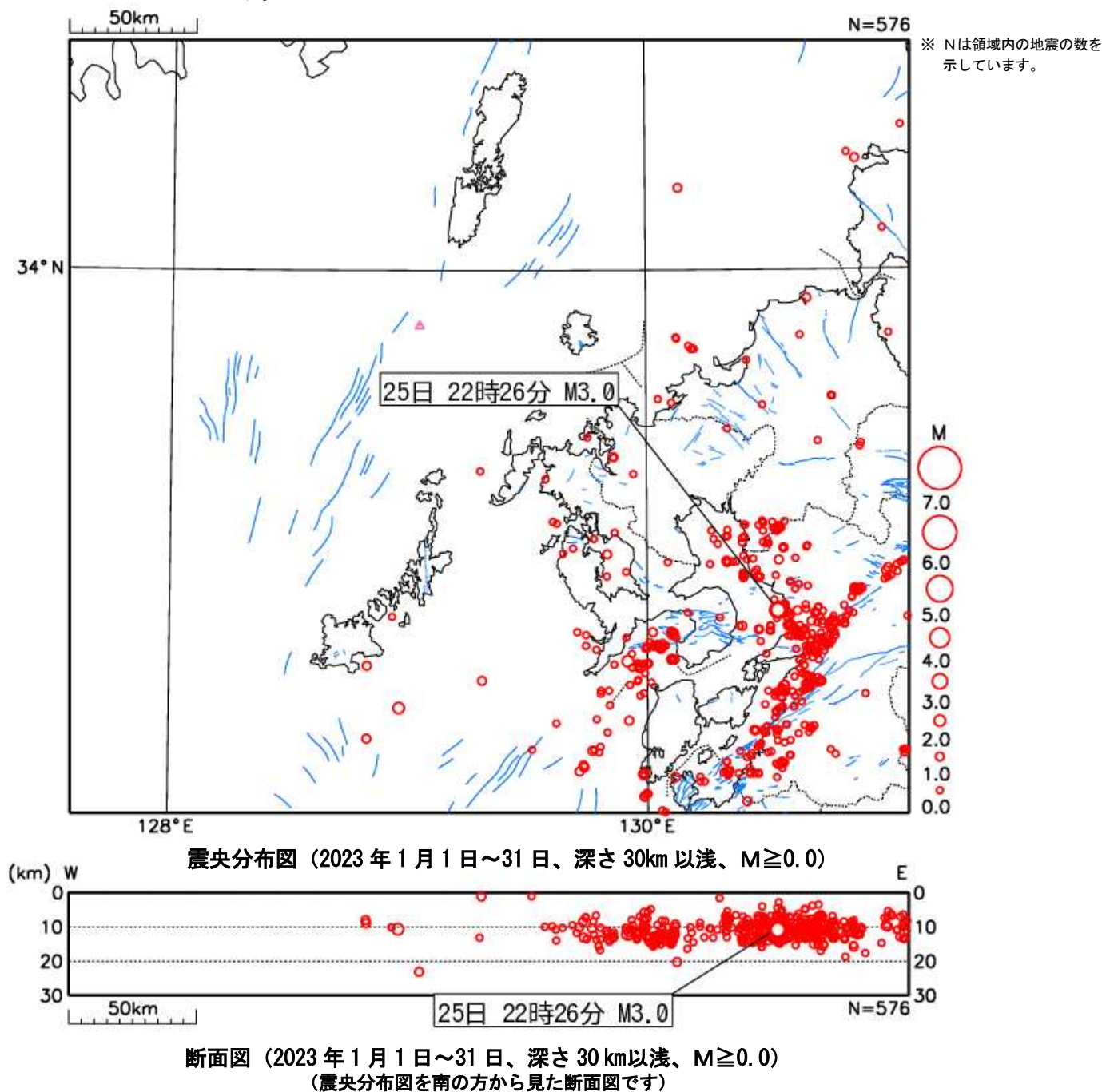
長崎県の地震活動概況（2023 年 1 月）

令和 5 年 2 月 7 日

長崎地方気象台

地震活動の概況（2023 年 1 月）

1 月に長崎県内で震度 1 以上を観測した地震は 1 回でした（2022 年 12 月は 8 回）。詳細は 2 ページのとおりです。



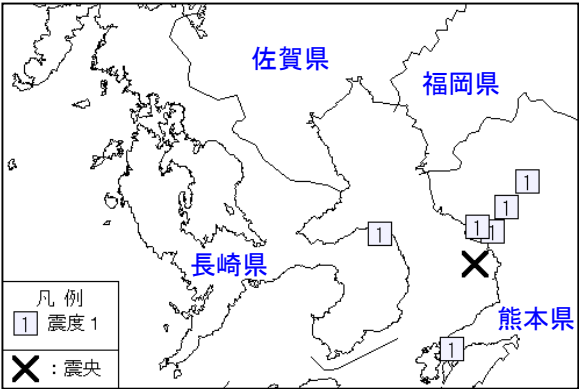
※ 本資料の震央分布図の青色のラインは活断層を示す（活断層のデータは新編日本の活断層による）。

※ 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022 年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

有明海

25 日 22 時 26 分に有明海で発生した M3.0 の地震（深さ 11km）により、長崎県雲仙市、熊本県の玉名市、山鹿市、宇城市、玉東町で震度 1 を観測しました。（図 1）。

今回の地震の震源付近（図 2 領域 a）では、「平成 28 年（2016 年）熊本地震」が発生しています。この領域では、2022 年 11 月 24 日に M4.0 の地震（深さ 14km、最大震度 3）が発生し、長崎県では雲仙市で震度 1 を観測しました（図 2、3）。



1 月 25 日 22 時 26 分 M3.0
図 1 震度分布図（観測点別）

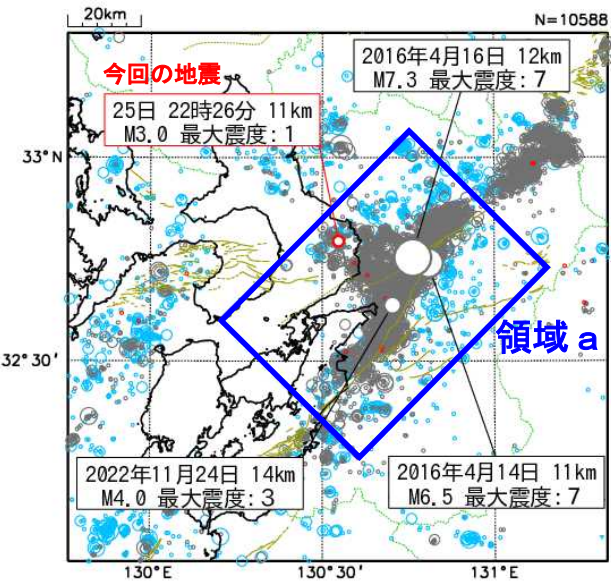


図 2 震央分布図

(1997 年 10 月 1 日～2023 年 1 月 31 日 深さ 0km～20km M≥2.0)

※2016 年 4 月 13 日以前の地震を青色で、
2016 年 4 月 14 日以降の地震を灰色で
2023 年 1 月の地震を赤色で表示

※図中の茶線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

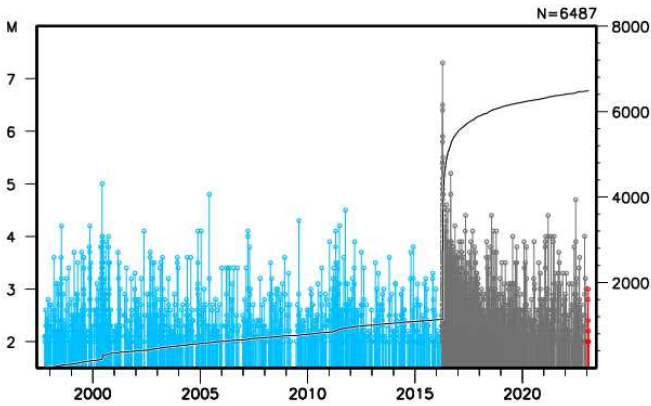


図 3 図 2 領域 a 内の地震活動経過図及び回数積算図

長崎県内で震度 1 以上を観測した地震の表（1 月 1 日～31 日）

地震発生時刻 各地の震度	震央地名	北緯	東経	深さ	規模
2023 年 01 月 25 日 22 時 26 分 震度 1 : 雲仙市国見町	有明海	32° 47.7' N	130° 32.8' E	11km	M3.0

注) 震源要素（緯度・経度・深さ・M）は、暫定値であり、データは後日変更されることがあります。
*を付した地点は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

地震に関する防災気象情報の強化について

令和5年2月1日(水)12時から、緊急地震速報の発表基準に長周期地震動階級を追加するとともに、長周期地震動に関する観測情報の発表を迅速化しました。また同時に、推計震度分布図を高解像度化・高精度化しました。

長周期地震動階級の基準による緊急地震速報が発表されても、伝え方や見聞きした際にとるべき行動は変わりませんので、慌てずに身の安全を守ってください。

また、これまでは緊急地震速報(警報)のうち、震度6弱以上が予想される場合を特別警報に位置付けておりましたが、これに加え、長周期地震動階級4が予想される場合も特別警報に位置付けます。

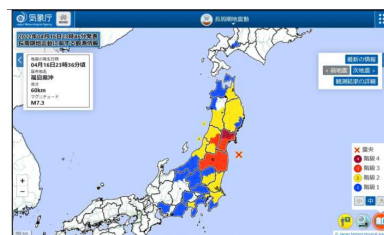
➤ 長周期地震動に対応した防災気象情報の強化

長周期地震動による被害の可能性がある場合も緊急地震速報を発表するよう、予想される長周期地震動階級を、緊急地震速報の発表基準に新たに追加しました。

また、オンラインによる配信を開始し、これまでは地震発生から20～30分程度を要していた観測情報の発表を迅速化し、地震発生から10分程度で発表します。

緊急地震速報(警報)の発表基準

発表基準	震度5弱以上を予想した場合 + (または) 長周期地震動階級3以上を予想した場合
対象地域	震度4以上を予想した地域 + (または) 長周期地震動階級3以上を予想した地域



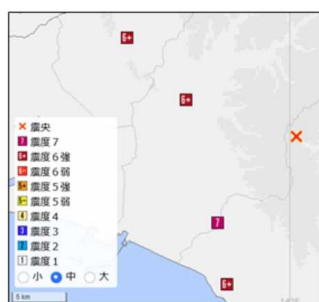
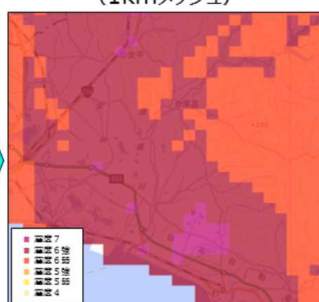
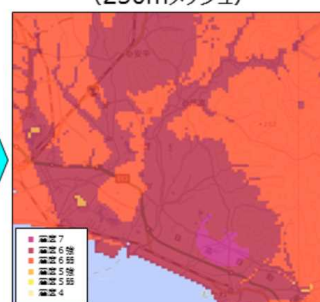
リニューアル後の長周期地震動観測情報ページ

➤ 推計震度分布図の高解像度化・高精度化

震度5弱以上の地震が発生した場合に、気象庁では、震度観測点のない地域を含む震度分布を面的に推計し、推計震度分布図として提供していますが、使用する地盤情報を1kmメッシュから250mメッシュに変更して高解像度化しました。

また、緊急地震速報の震度予測技術を用いることにより、停電等で震度データが入手できない観測点があった場合も高い精度の推計震度分布図を作成・提供します。

地点震度の分布図例

推計震度分布図例
(1kmメッシュ)推計震度分布図例
(250mメッシュ)平成16年3月1日～
令和5年1月31日

令和5年2月1日～

詳細については、気象庁 HP(報道発表)をご覧ください。

○長周期地震動に対応した防災気象情報の強化について(令和4年10月26日)

https://www.jma.go.jp/jma/press/2210/26b/20221026_lpgm_start.html

○推計震度分布図の高解像度化・高精度化について(令和4年12月16日)

https://www.jma.go.jp/jma/press/2212/16a/20221216_suikei_250m.html